

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、26～29℃台を示し、平年並み～やや高めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マイワシが1日1統当たり27トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり23トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣――スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり0.2kgの水揚げ（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり281kgの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり57kgの水揚げで、前週の1.5倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり3トンの水揚げで、前週の9倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり45kgの水揚げで、前週の79%（前年を上回った）。
- 定置網――対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり163kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり143kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり64kgの水揚げで、前週の75%（前年を上回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり10kgの水揚げで、前週の1.4倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

沖合イカ釣り 鳥取県（7/15～7/17）

沖合船（船凍船）は、太平洋公海域のアカイカ（ムラサキイカ）漁に出漁中、一部帰港。

沿岸船（氷蔵船）は、壱岐・対馬沖、山口沖、山陰沖、能登半島沖、佐渡沖で操業。

小型いか釣（鳥取県西部・19トン小型船）は、入港船延1隻がスルメイカ25箱、ケンサキイカ25箱、合計50箱を、1航海最高50箱、平均50箱の水揚げ。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「組織で探す⇒研究機関等⇒総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp>